

笑顔の大切さ

扶桑中学校 坪内 悠里



私はオーストラリアに行って笑顔の大切さを学びました。ホストファミリーと会う前はとても不安でしたが、初めて会った時、笑顔で話しかけてくれたので安心することができました。5才のルビーと折り紙をした時には、英語での説明が難しかったけれど、笑顔で教えてもらって分かってきて、とても仲良くなることができました。言葉が違って相手と話したい、理解したいという気持ちをもって笑顔で話せば、コミュニケーションがとれることが分かりました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

初海外

扶桑北中学校 宮田 悠羽



私は初めて海外へ行きました。少し飛行機に乗るのも怖かったし、家族と離れて生活するのも心配でした。また、オーストラリアは英語なので、コミュニケーションがとれるか心配もありましたが、ホストファミリーは優しい人で安心しました。ホームステイ先には、アメリカや中国の人もステイしていて、びっくりしました。この経験から、もっと英語を勉強して話せるようになりたいと思いました。そして、もっと外国の文化について知りたいです。

オーストラリアで体験したこと

扶桑北中学校 多和田 結奏



私がオーストラリアに行って一番心に残っていることは、ホストファミリーと過ごしたことです。私のホストファミリーのルルさんは、とても優しく、たくさんお話をしてくれました。行く前に心配だった英語は、ほとんど伝わりました。ルルさんのおかげで、私の英語力もすごく上がり、ホームステイがとてもよい経験になりました。私にとって、初めての海外で心配なことが多かったですが、とてもよい体験となり、とてもよい思い出になりました。

海外派遣事業を終えて

扶桑北中学校 校長 中村 嘉孝



冬とは思えない大変さわやかな気候のゴールドコーストで、子どもたちは様々な人々と関わり、それぞれに交流を深めてきました。特に、アッシュモア州立学校のバディやホストファミリーとの生活では、自分の思いを伝える難しさ、伝わらないもどかしさとともに相手のことを知る、受け入れる大切さを学びました。この貴重な経験により、子どもたちは見聞を広め、国際感覚を磨くという海外派遣事業の目的を十分に達成できました。改めて、この海外派遣を支えていただいた関係各位並びに保護者の皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

人の個性や考え方について感じたオーストラリア派遣

扶桑中学校 教諭 滝 茂己



オーストラリア派遣に参加して一番感じたことは人の個性や考え方についてです。日本とは異なる文化なので、全てが違っていると考えてしまいましたが、お世話になったホストファミリーの方と話をし、一緒に過ごしていくうちに、自分と相手の考え方の共通点がたくさんあることに気付きました。人それぞれに個性があるように、オーストラリアにも多様な考え方や文化があることを再認識することができたのは、海外派遣事業に参加する機会をいただけたからこそ感じたことです。ありがとうございました。

挑戦する大切さ

高雄小学校 教諭 眞鍋 眞琴



他人の家で寝泊まりをすることが苦手な私にとってホームステイは高い壁であったが、ホストマザーが温かく迎えてくれ、私の下手な英語を一生懸命に聞き取ってくれたおかげで、楽しいホームステイとなりました。最後の夜にはお礼の気持ちを込めて、日本のカレーライスを食べました。歳を重ねると新しいことになかなか挑戦できなくなるが、今回の体験を通して、自分から飛び込んでいく気持ちや、いつまでも挑戦し続ける大切さを改めて感じることができました。

通じ合えた時の楽しさ

扶桑中学校 仙田 萌



私は、オーストラリア派遣に参加して文化の違いで驚くことがたくさんありましたが、一番印象に残ったのはホームステイでホストファミリーとたくさんコミュニケーションをとることができたことです。毎日、その日の出来事や趣味の話などをたくさんしました。こんなにコミュニケーションがとれるなんて想像していませんでした。私の英語力でコミュニケーションがとれたいのは、ホストファミリーが私の英語に耳を傾けてくれ、私に分かりやすいように話してくれたからだ感謝しています。もっと英語を勉強してまた行きたいです。

伝えようとする気持ち

扶桑中学校 山浦 央資



僕は、オーストラリア出発前、本当に自分の英語が通じるのだろうか、という不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、ホストファミリーやバディは、簡単な英語を使ってくれたり、僕のしゃべる英語を笑顔で聞いてくれたりしました。僕の中で一番良かったと思うことは、ホストブラザーと一緒にバスケットをしたことです。一緒にバスケットをすることで、コミュニケーションを取ることができ、仲良くなるのが出来ました。言葉は違って、伝えようとする気持ちや、一緒になって楽しむことが大切だと感じることで海外派遣でした。

オーストラリア派遣で学んだこと

扶桑中学校 井上 帆乃



私は今回の海外派遣で言葉を伝えることの難しさ、また伝えようとする気持ちの大切さを学びました。最初はホストファミリーに自分から話しかけることが出来ず、ただ応答するだけでした。でも自分から話しかけてみたら、笑顔で応答してくれて会話が弾んでいきました。最初は不安だらけだったのに別れの時には、帰りたくないと思うほど充実した日々を送ることができました。この貴重な体験で学んだこと一つ一つをこれからの生活にかかしていきたいです。

伝えることの有難さ

扶桑中学校 澤木 翔子



私は、オーストラリア派遣で伝えることの有難さを感じました。ホームステイ先で自分の思いがなかなか伝わらず、コミュニケーションの方法を機械に頼ってしまいました。私は、普段自分の思いを伝えられ返事をもらえることの有難さを痛感しました。会話が出来るという事は、「当たり前」ではないんだということが分かりました。この体験を生活に生かし、会話というコミュニケーションを大切にしていきたいです。

ホームステイで学んだこと

扶桑中学校 奥田 菜月



私の一番の思い出は、ホストファミリーと過ごしたことです。初めて会った日は、何を話してよいか分からず、とても困りました。でも、子どもたちがバスケットボールに誘ってくれたり、ホストマザーやホストファザーがジョークを言ってくれたりして、徐々に心がほぐれていきました。私はあまり英語が得意ではないけれど、スポーツをしたり、英語の歌と一緒に歌ったりして、仲良くなることができました。言葉が完璧に通じなくても、一緒に楽しんで笑い合えば、心を通わすことができるということを知りました。

伝えようとする気持ちの大切さ

扶桑中学校 今枝 考祐



僕のオーストラリア派遣で一番印象に残ったのは、向こうの人たちの優しさです。買い物や、学校のバディと過ごした時に、自分の英語が伝わりにくいのがわかったら、ジェスチャーなどで教えてくれました。特にホストファミリーはとても親切でした。ホストマザーは、身の回りのことを気にしてくれて、不自由のない生活を送ることができました。自分も積極的に英語を話すように頑張りました。僕は今回、何事もあきらめずに伝えようとする気持ちが大切だということを学びました。